

「第10次熊本県交通安全計画(案)」に関する意見募集の結果及び県の考え方について

熊本県交通安全対策会議（事務局：熊本県くらしの安全推進課）

No.	項目	ご意見・ご提案の概要	県の考え方	取扱い
1	第1部 第2章 第2節 1 (10) 交通需要 マネジメントの推進	<p>地震による市民病院の東町自衛隊南移転や益城町テクノリサーチパークの工場敷地に大量の仮設住宅の建設などにより第二空港線のさらなる混雑が予想されます。</p> <p>健軍町から新市民病院予定地、益城インター口、益城町安永に建設予定の仮設住宅、高遊原カントリークラブ北を通して益城町小谷（テクノリサーチパーク）に建設予定の仮設住宅阿蘇熊本空港を結ぶ鉄道を第二空港線北側に建設できないでしょうか。</p> <p>市電延伸のサイドリザベーションでも用地が足りなければ単線でもよいです。</p> <p>益城町内の第二空港線はもともと市街化調整区域や農地で建物が建てられないので仮設住宅専用の仮停車場でも構いません。</p>	<p>当交通安全計画は熊本県の交通安全対策の大綱・方針を定める5か年計画であることから、特定箇所の市電延伸や仮停車場の設置等について、個別具体的に記載することは困難ですが、今後の各種施策の推進にあたり参考とさせていただきます。</p> <p>また、「熊本都市圏総合交通計画協議会」において目指すべき都市構造とそれを支える交通体系のあり方を提案した「熊本都市圏都市交通マスタープラン」が策定されており、担当部署において施策実現のための実行計画が検討されていることから、そちらにもご意見をお伝えいたします。</p> <p>なお、県内の交通渋滞の緩和につきましては、対策の1つとしまして、「第1部第2章第2節1(10)」のとおり、公共交通機関の利用促進、自動車利用の効率化を推進することにより、道路交通の円滑化を図り、交通安全に資することが必要と考えております。</p>	参考
2	第1部 第2章 第2節 2 交通安全 思想の普及徹底 ・ 3 安全運転 の確保	<p>「エコドライブ普及連絡会」が提唱している「エコドライブ10のすずめ」のうち、特に「ふんわりアクセルeスタート」「車間距離にゆとりをもって加速・減速の少ない運転」「減速時に早めにアクセルを離そう」の3項目は、追突事故をはじめ、交通事故削減効果が高いといわれています。</p> <p>エコドライブによる交通事故削減効果を踏まえ、エコドライブを推進するとともにさらにその効果の調査研究等を官民協力して実践していくことを要望いたします。</p>	<p>エコドライブについては、交通事故抑止にも一定の効果が期待されるとの認識の下、関係機関・団体と連携し、「エコドライブ推進月間」の広報等を通じて普及促進を図っているところです。</p> <p>また、事業用自動車の安全対策の観点から、平成24年4月に国土交通省が策定した「自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導及び監督の実施マニュアル」において、エコドライブの励行等を含めた運送事業者の社内安全教育の充実が図られたところであり、「第1部第2章第2節3(4)ア」に記載のとおり、今後とも安全対策の推進に努めてまいります。</p> <p>なお、エコドライブによる交通事故削減効果の調査研究等の実践については、「エコドライブ普及連絡会」の調査状況等を勘案しながら、各種施策を推進してまいります。</p>	参考